

大和屋 設計・施工マニュアル

－デッキ（平タイプ）－

設計・施工の前に必ずお読みください

設計のご注意

- 各商品は天然木を利用した商品であるため、1枚1枚全て木目や色味の濃淡が異なります。サンプル・カタログの色の違いは、自然の木材ゆえの特徴ですのでご了承ください。
- 湿気の多い地域や場所へのご使用は避けてください。
- 腐朽防止のため、必ずデッキ下の通気を確保してください。
- 日焼けによる経年変化を楽しむことも出来ますが、木材の腐食やささくれを抑え、更に長くお使い頂く為に定期的な塗装することをお勧めします。

施工の前に

- 直射日光や雨の当たる場所、湿度が高い場所での保管は避けてください。
- 立て掛けての保管は反りや曲がりの原因となります。必ず平置きにして保管してください。
- サーモアッシュは特性上、未処理の木材よりも柔軟性が低く、割れや衝撃に弱くなっております。荷運び・荷下しの際は取扱いにご注意ください。
- サーモアッシュは鉄との接触は避けてください。
- サーモアッシュ・その他の商品ともに、ビスはステンレスビスを使用し、必ず下穴をあけてから施工してください。
- ささくれ等で怪我をしないよう、取扱の際は必ず軍手を使用してください。
- 天然木は一枚一枚木目や色味が異なります。施工の前に必ず仮並べをおこなってください。
- 品質には万全を期しておりますが、お気づきの点や不良品がございましたら、施工前に必ずご相談ください。施工後の交換にはご対応できません。

用意するもの

- 皿取キリ 径 1.0mm程度
- ビス [推奨：若井産業 デッキ専用スレンダービス ステン ブロンズ DK5555B 5.5X55]
- スペーサー 3～5mmの薄ベニヤ等
- キリ 3.0～3.5mm（鋼製根太を使用する場合のみ）

施工の手順

●床下部分

①束石を設置します。

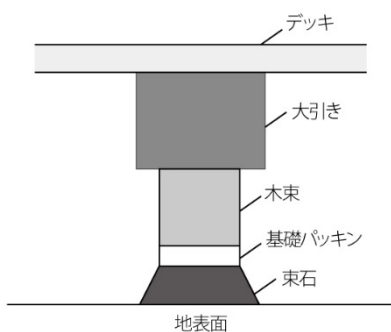
- ・下が地面で木製の束を使用する場合は必ず設置し、木部が直接地表面に接しないようにしてください。
- ・コンクリート下地、または鋼製束・樹脂製の束を使用する場合は束石を用いなくても構いません。
- ・コンクリート下地の場合は、建物とは反対側へ水が抜けるよう、デッキの端に向かって水勾配を取ります。（勾配目安：2/100～3/100）

②束・大引き・根太の設置をします。

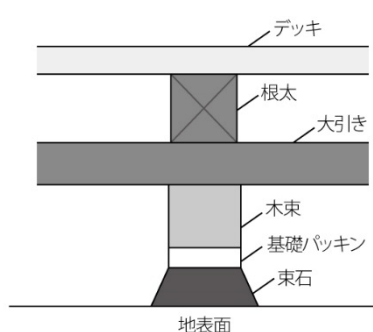
- ・床下の通気を確保するため、束は必ず設置してください。
- ・木製の束を使用する場合は、束石（またはコンクリート下地）との間に基礎パッキンを挟み、垂直に固定します。
- ・大引き・根太間隔は芯間 450mm～500mmとしてください。
- ・大引き・根太はデッキと同材、または伸縮率の近い材を使用してください。伸縮が合わずビスが外れることがあります。また、鋼製根太を使用した場合まれにビスが外れることがありますので、ご注意ください。
- ・高さを合わせ、水平を取った事を確認してから、デッキ材の施工へ進んでください。

〈鋼製根太の場合〉

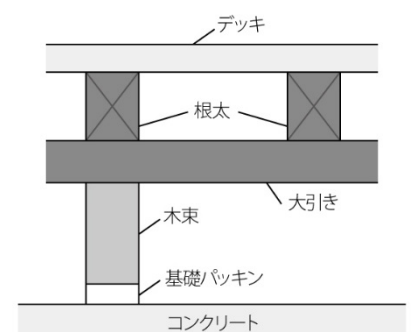
- ・高さ調節した束に鋼製根太材をのせ、ステンレスビスで根太材と束をしっかりと固定してください。
- ・錐を使用して根太に下穴を開けてください。



地面に木製の束を設置する場合



根太を設置する場合



コンクリート下地の場合

●施工の流れ

①塗装

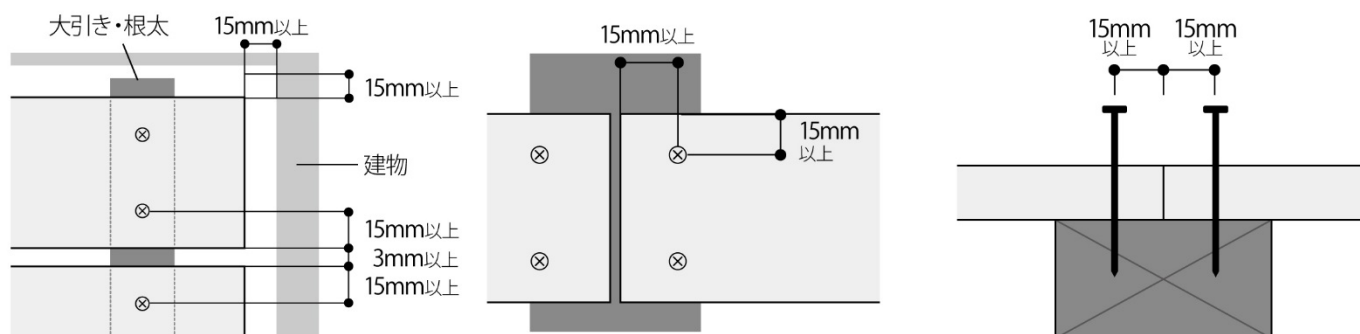
- ・デッキ材を塗装する場合、施工前に行います。片面のみの塗装は反りの原因となる為、木口も含めて6面全面を2回塗りすることをおすすめします。
- ・欠け節、抜け節がある場合は除去してください。
- ・カットした木口にも必ず塗装を行ってください。

②仮並べ

- ・本商品は天然木のため、色の濃淡が異なります。必ず仮並べを行い、色味のバランスを調整してください。

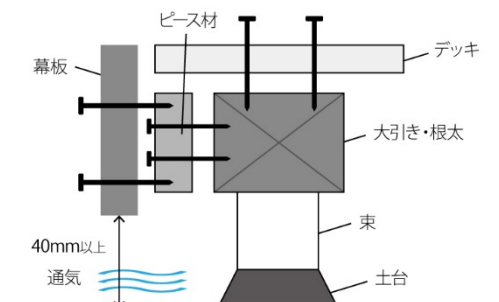
③施工

- ・建物の壁際から長手・短手ともに5mm以上クリアランスを設けて貼り始めます。
- ・ビスは床板の端から15mm以上離れた位置へ、必ず下穴をあけてから施工してください。
- ・デッキ間はベニヤやスペーサーを使用して、3mm以上のクリアランスを確保してください。



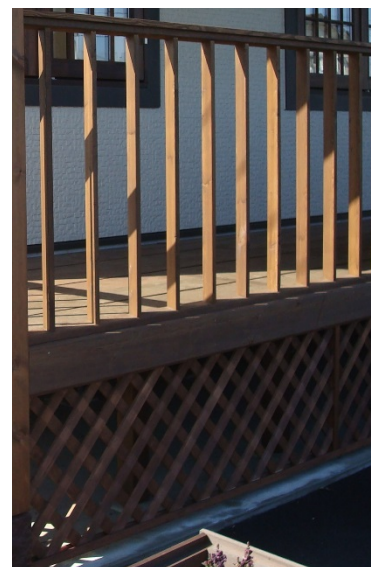
④幕板の施工

- ・幕板を大引きに固定します。デッキ材へ固定すると割れの原因になりますので、避けてください。幕板と大引きの間に距離がある場合は、中間にピース材をかませ、幕板を固定します。



- ・根太や束が見えなくなるように完全に幕板で覆い隠してしまうと、床下に湿気がこもり、狂いや腐りの原因となります。幕板と地面との間は40mm以上開くように調整し、通気を確保してください。どうしても床下を覆う必要がある場合は、ラティス格子などをおすすめします。

⑤ビス穴周辺のバリや、ささくれ等をサンドペーパーで除去します。



ラティスの使用例

施工の後に

- 施工終了後、大引きと根太の隙間やデッキ床板間に詰まった細かい木粉が残っていると、雨にさらされた際に外壁や下地コンクリートを汚す原因となりますのできれいに掃きだしてください。
- 灰汁（アク）として木口・表面からにじみ出る場合があります。汚れなどが気になる場合は、お引き渡しの前に大和屋エクステリアクリーナー、または薄めた中性洗剤や漂白剤で落としてください。
- 日当たりの良い場所の場合、季節によって日焼けやムラが非常にできやすくなります。お引渡し前は特に、ブルーシートで養生をする、デッキの上に物を放置しないなどの配慮をお願いします。
- 掃除やメンテナンス方法についてはユーザーマニュアルをご覧ください。

免責事項

下記が原因として発生した不具合は、免責とさせていただきます。

- 天然木の特徴によるもの
 - ・色違い
 - ・木目・節の違い
 - ・ヤニ
 - ・経年による変色
 - ・伸縮
 - ・軽微な反り・割れ
 - ・キクイムシなどの虫の発生
- 水などを放置して発生した染み・変色・カビ・膨れ・反り
- 下地の不陸など本製品以外が原因によるもの
- 設計・施工マニュアルに基づかない設計・施工で発生した不具合
- ユーザーマニュアルに基づかない掃除・メンテナンスで発生した不具合
- 不適切な保管状況が原因で発生した反り・キズ
- 不適切な養生により発生したキズ・色むらなどの不具合
- その他天災等によるもの

※施工後の返品やクレームにはご対応できません。

万が一商品に問題があった場合は、必ず施工前にご連絡ください。

大和屋 株式会社

住所：埼玉県熊谷市末広 2-118

電話：048-526-1001 FAX：048-526-1011 メール：call@yamatoya-kk.co.jp

ホームページ：<http://www.yamatoya-kk.co.jp/kenzai/>